

いじめ防止プログラム指導者養成講座

2013年(平成25)年2月9日(1日目)

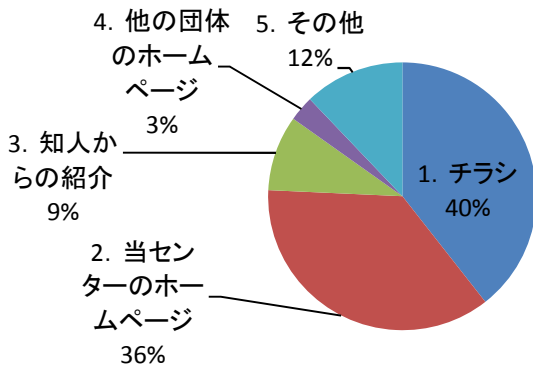
1. 本プログラムの開催を、何で知りましたか

	人数
1. チラシ	13
2. 当センターのホームページ	12
3. 知人からの紹介	3
4. 他の団体のホームページ	1
5. その他	4
計	33

1. チラシを入手した場所
大学、区立の文化センターや図書館、神奈川県民センター、渋谷区女性センター、我孫子市教育委員会、エセナおおた、学校、等

5. その他
瀧田さんより、渡辺様より

1. 本プログラムの開催を、何で知りましたか



2. 所属

	人数
1. 学校関係者	9
2. 医療関係者	0
3. 法務関係者	0
4. 福祉関係者	2
5. 行政関係者	6
6. 企業関係者	0
7. NPO	5
8. 学生	4
9. その他	7
計	33

5. その他
会社員、ガールスカウト、主婦など

3. あなたは、いじめの相談を受けることがありますか？

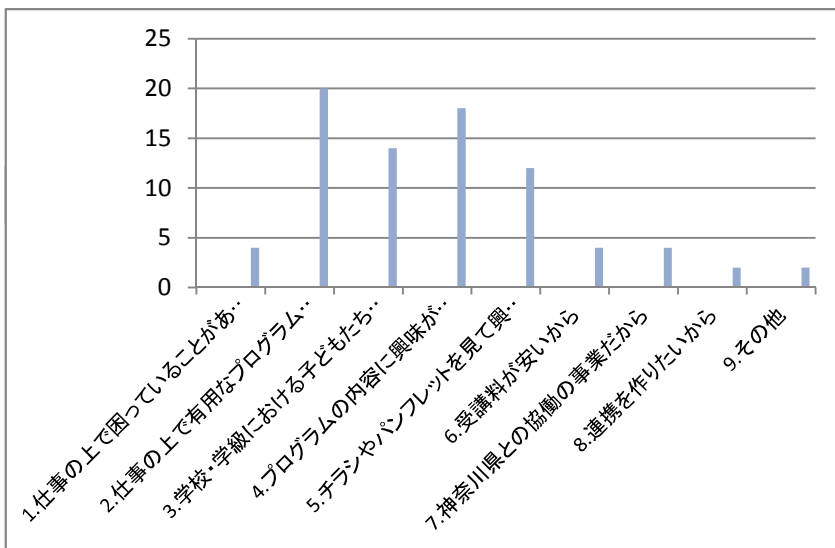
	人数
1. 日に数回	2
2. 週に数回	2
3. 月に数回	6
4. 年に数回	11
5. ほとんどない	12
計	33

4. 3で、相談を受けるとお答えの方にお聞きします。だれからの相談が多いですか。

	人数
1.12歳までの子ども	9
2.13歳～19歳までの子ども	10
3.保護者	9
4.教師	2
5.その他	5

5. 何故、この研修会に参加しようと思いましたか？（複数回答可）

	人数
1.仕事の上で困っていることがあるから	4
2.仕事の上で有用なプログラムだと思ったから	20
3.学校・学級における子どもたちの人間関係や心理状態を知りたいから	14
4.プログラムの内容に興味があったから	18
5.チラシやパンフレットを見て興味をもったから	12
6.受講料が安いから	4
7.神奈川県との協働の事業だから	4
8.連携を作りたいから	2
9.その他	2



参加動機

1	東京都・神奈川県で行われているプログラムであり、埼玉県でも導入を検討しているため。
2	スクールカウンセラーをしていた頃も、いじめの問題はよくあがる問題だったが、学校全体への具体的な取り組みにまでは至らなかった。現在、社員研修の仕事をするようになり、いじめ・パワハラ問題というのは組織に働きかける必要のあるトピックスだと強く思うようになった。NPO活動と合わせてそうした仕事上の気づきがあったから。
3	中学校の教師を目指しているが、昨今のいじめ問題を受け、様々ないじめに対するアプローチ方法を知りたいと思ったから。
4	被害者側のフォローをする支援などはよく聞かすが、加害者側のフォローをする支援はあまりないと思い、興味を持ったから。
5	自分の行動をどうすればいいか考え中だったから。
6	自分の立場でも何か出来ることがないかを模索したい。 今の(いじめ)事情は社会全体で取り組まないといけなと思うから。
7	学校現場で、いじめ防止プログラムを実施したいと考えているから。

8	神奈川県立総合教育センターで、人権教育の担当として今年度様々な研修を受けてきたことから、より知識を得たいと思 い色々なセミナーに参加しているから。
9	不登校の子どもをもつ母親を中心におしゃべり会というのを開いている。 そこで学校の先生方とも話し合いをしたがなかなかうまくいかないため、何かヒントがあればと思ったから。
10	チャイルドラインのスタッフをしている。そこでの講師として呼ぶこともできるだろうかと思ったから。 また、チャイルドラインのスタッフは解決する立場にはないが、心理を理解することで優しく接することができるのではない かと思ったから。
11	幼稚園・小学校教員免許を取得予定で、現職の先生方がたくさんいらっしゃるこのイベントに学生も参加出来るとのこと だったので、めったにない貴重な機会だと思ったから。
12	いじめを防止するために、どのようなことが必要なのかを具体的に知りたかったから。
13	今年の四月から東京都の職員になる。教育の分野、特にいじめ問題について行政が何ができるかのヒントを得たいと思 い参加した。行政職員は現場を見ずに政策を決めていると感じることがあるため、実際に現場で効果を上げているプログ ラムを勉強したいと思った。
14	年配の方だと様々なことを自分で経験なさっているためか、レクチャー形式では聞いていただけない。 参加者が実践できるアクティビティを求めて参加した。子どもが参加できるなら、必ずどんな大人も参加できると思っ たから。
15	いじめ防止プログラムやいじめ対策などに興味があるから。 茅ヶ崎の中学校でやったと知り、自分の学校にも取り入れたいと思ったから。
16	いじめの被害者の心理・加害者の心理を具体的に知りたいために参加した。
17	中学二年生(14歳)の息子がクラスのいじめにより9ヶ月間不登校だ。 少しでもいじめ問題に関する情報があれば、保護者としてできることがあればと思い参加した。 加害者の気持ちを特に理解したい。
18	いじめと発達について知りたいから。
19	学校内で生徒指導の係をしているが、年々受ける相談内容が複雑でハードになってきているため。
20	現在公立学校の特別支援級担任で、今後通常学級との交流級において「いじめ」に関わる情報が起きることもあると感じ たので知りたいと思ったから。 通常学級の担任にもどった時、児童の悩みに寄り添えるようになりたいから。
21	ガールスカウトで10年間の取り組みが決まったStop the Violenceキャンペーンの担当になったので、そのためのプログラ ム開発に役立てたいと思った。 また、日々関わる子どもたち・大人の間人間関係にも役立てたいため。
22	来場者からどのような方がいじめ問題に興味があるかを知りたかった。 いじめに対するこれからの活動にどう貢献できるかを考えたいから。
23	これから自分が研修会を主催する際に役立てたいから。 学校に広められるものがあれば広めて行きたい。
24	加害者心理を詳しく知りたいと思ったから。
25	何か私にできることがあればと思ったから。
26	いじめ問題の解決に向けて何らかのヒントが得られればと思った。
27	講座に参加することで神奈川県教育問題にどのように取り入れることができるのかを考えたいから。
28	いじめ相談の団体をつくっている。 アメリカの対策などをぜひ詳しく知りたいと思っていたところ、貴会の企画を拝見したいと思ったから。
29	たずさわっているデートDVの予防事業のユースリーダー養成に役立てたいと思ったため。
30	学校でコーディネーターをしており、「いじめ」に対応する方法を学校内に広めていく必要があるため、対処療法でなく予 防法について知るため。

6. この研修で何が知りたいか？また、何を望むか？

1	学校現場で組織的にいじめに取り組む具体的方策や児童生徒が主体的にいじめ問題に取り組むための方法。
2	いじめ防止プログラムを体験を通して学びたい。
3	いじめ加害者の背景やなぜいじめをするのか。また、それに対する支援の仕方。
4	いじめ防止プログラムの活動について。このプログラム内でアートセラピーを活かせるところはあるか、またどのようにして活かせるか。アメリカでのDVや虐待への動き。
5	アメリカのいじめの実態とその対処法を日本での取り組みと比べて学びたい。
6	どのようないじめ対策がより有効なのか。
7	「いじめる側はなぜいじめをするのか」を理解したい。「いじめる人間を救う」ための方法を知りたい。
8	いじめる子・いじめられた子へのフォローの仕方。
9	心理を理解すること、また、その上で他に私にできることはないか。
10	いじめと予防するための方法。子どもたち・学校現場への有効な働きかけの仕方。行政職員として何ができるか。
11	講義だけではなく、アクティビティに参加することで、自分の中にある様々ないじめに対する感情を発見してもらい、それに驚きたいと思います。
12	子どもたちが、いじめる側・いじめられる側にならない方法。 学校・保護者の対応について。友達関係の作り方やそれに対するサポートの仕方。
13	いじめは一体何故起こるのか？を知りたいです。
14	日本教育の中に根付くいじめを改善する方法があるなら知りたいです。
15	具体的な実践法。アクティビティの体験をできるものと思って参加した。
16	今のいじめの実態。また、その実態を知った上で何をどう捉えていけばよいか。
17	身近に起きているクラスの子のいじめをどのように理解すればいいのか。 保護者の問題(加害者(児童)の保護者はそれをなかなか認められない。)
18	いじめ・暴力についてどう関わるかについての考え方など、取り組むにあたり大切な基本的なことから、ワークショップの方法・効果。
19	文化によりどう対応が異なるか。連携をどうとっていくか。自分をどう保っていくか。
20	いじめ防止プログラム運営のためのスキル。
21	加害者心理や暴力に関わってしまった人々の心のケアとその経過の心理変化について。
22	具体例。
23	加害行為におよぶ子どもの心理。傍観者を仲裁者にかえる取り組み。
24	いじめ問題の解決策。
25	アメリカの取り組み。
26	アメリカの方法。アメリカのいじめ防止プログラムの内容。
27	児童虐待と暴力の関係性。
28	いじめをできる限り防ぐため、学校でどんなことができるのか。

7. ご自分のお仕事や活動に、どのように活かせると思うか。

1	教育行政の立場として、このプログラムの長所を伝えて行くこと。
2	パワハラ講習にも活かしたい。
3	自身の授業ではグループダイナミクスで活かせると思う。
4	今後のプログラム作りの参考になる。
5	学校に起きる問題について。
6	学校ではいじめが多発しています。どうすれば、どの子も参加できる学校になるのかを知りたい。
7	どの立場に子どもがあっても心を守れる自分でありたい。
8	職場、教職員対象の研修でこの講座のことを紹介できると思います。 特に、人権研修を担当しているので、そのときに伝えていけたらと考えています。
9	NPOと行政が協働して効果をあげていることが分かり、広めていきたいと感じました。
10	苦しんでいる人にどうやって様々な視点があることを、自分で気付いてもらえるかを長い時間をかけて取り組みたいと思います。
11	子どもの心について知る手がかりになりそうです。
12	カウンセリング事務をしているため被害者・加害者・保護者がクライアントになった場合、どのように対応していけばいいかに活かせると思いました。
13	看護の仕事に従事しており、ご老人がDVをされることもよく見聞きしております。 加害者(家族等)側の気持ちをより知りたいので、楽しみにしています。
14	生徒理解に役立てたい。
15	この研修で学んだ『視点』という見方を取り入れて行きたい。
16	教職員間の研修、または実際にいじめ防止プログラムを学校でやってみたい。 小学校は中学年後半が人間関係が変わってくるのでいじめの可能性も高まるから。
17	予防教育・人との関わり方。
18	生徒と接する時、家族内でも。
19	学校の生徒指導主任研修会を企画運営する際に役立てられる情報をいただけたので、広報する。
20	子どもへの固定概念を減らしたい。
21	多くの情報を得ることで幅をもちたい。そうすることで深みが増すと思います。
22	いじめ相談における知識として。
23	スクールカウンセラーがいじめを見つける事例が極端に少ないのが現状。(フォローはしっかりやって下さっているようですが。)スクールバディの子どもたちの目線が必要。神奈川がその先駆者になればと思います。
24	相談や、学校との交渉に活かせると考えています。
25	児童虐待の背景にはDVが潜んでいることが多く、両面からのアプローチが必要だということで、今年度からWリボン(パープルリボン+オレンジリボン)も販売することになったので、今後の事業内容に反映させたいと思います。
26	午前の瀧田さんの話については参考になるところが多かった。もっとゆっくり丁寧に聞きたいと思いました。 生徒たちをどう活かしていくか、考えながら話を聞いていました。

8. ご自由にお書き下さい。

1	実践的な内容でしたので、現場の先生方にとっても取り組みやすいと思います。
2	ありがとうございます。
3	①午前中のパートについてプレゼンテーションの内容の詳細が事前に分かるとよかったです。プログラムの展開について詳しく話して下さいありがとうございます。とつてもバーチャルに伝わったのですが、講話のCDでも作って下さい！何度でも聞きたいということです。 ②Daveさんのパワーポイントの資料は見せていただけるかな？
4	スライドの印刷(訳したものであれば、それでもよいが英語版であっても、パワーポイントの資料)がほしいです。
5	休憩を適宜入れていただくと助かります。
6	いろいろ参考になります。ありがとうございます。
7	今日、先生が傍観者も被害者とおっしゃったのが印象的でした。日本的感覚はマイナス的なので加害者(傍観者)になってしまうのかなあと。見方も色々ですが、複雑な思いでした。
8	アクティビティをたくさんやってみたいです。 グループ内で話す時間を増やしてほしいです。
9	マシューズ先生のお話で、「いじめ」という一つの現象を文化や社会という大きな視点から捉えることにとっても関心を覚えました。
10	アクティビティが思ったより少なくて、個人的に残念でした。 明日に期待しています。
11	集中して学ぶために、休憩を入れてください。
12	いじめの構造・構図を“川の流れ”に例えたのが、とても分かりやすかったです。
13	ほとんどワークがないなら机を講習しやすいように、プロジェクター・ホワイトボードを見やすいようにした方がいいかと思 います。ワークの際に近くの席で話し合う程度でよかったのではないのでしょうか。
14	私は英語が分かりません。日本語の説明がもう少しほしいです。特にパワーポイントに書かれたの英語は聞き逃してしま うと、何のことを話しているのかその後の話も分からなくなります。 英語で行われた参加者との会話もきちんと訳して欲しいです。
15	とても引き込まれるお話でした。明日もとても楽しみです。考えが整理されていきます。ありがとうございます。
16	パワーポイントの資料が英語なので、配布資料だけで日本語のものをいただくと助かります。
17	当日のプログラムがわかるものがあるとよい。
18	英語ができる方も、通訳さんを通して日本語で質問していただくと助かります。 パワーポイントのデータを紙ベースでいただけませんか。
19	午後のマシューさんのお話は概略的なお話でしたので、理解するにはもう少し時間がかかりそうです。 とても大切なお話でした。

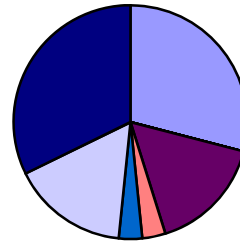
いじめ防止プログラム指導者養成講座

2013年(平成25)年2月10日(2日目)

1. 所属

	人数
1.学校関係者	9
2.医療関係者	0
3.法務関係者	0
4.福祉関係者	0
5.行政関係者	5
6.企業関係者	1
7.NPO	1
8.学生	5
9.その他	10
計	31

所属



- 1.学校関係者
- 2.医療関係者
- 3.法務関係者
- 4.福祉関係者
- 5.行政関係者
- 6.企業関係者
- 7.NPO
- 8.学生
- 9.その他

5. その他
ガールスカウト、主婦、心理相談施設等

2. 本日のご意見、ご感想をお書きください。

1	積み木のアクティビティは固定観念にとらわれた社会の縮図だと、とても納得した。「診断に人を助ける時と、そうでない時がある。」という言葉が印象的だった。診断に基づいた症状だけを改善させようと努めてしまう自分に気がついた。
2	理論を再認識するための良い機会となりました。背中にカードを貼ったアクティビティで「いじめ」「DV」などのネガティブなものを題材にしたら実際どんな気持ちになるのかを体験してみたいと思いました。
3	アイスブレイクとして、初めて同士の参加者が話しやすい雰囲気づくりとして「共通点探し」のアクティビティはとても有効だと思います。社会全体で傍観者をつくりださない仕組みづくりに関わっていくためのヒントとチャンスを見出したように思いました。
4	いじめの加害者・被害者・傍観者すべてに共通するものがあり、驚きました。全てが小さい頃の背景に原因があることを知り、自分が子どもを生み育てる時に思い出したいと思います。
5	いじめに対する様々なアプローチの方法や加害者が何故いじめをしてしまうのか、その原因など、自分にとって新鮮で大変意味のあるものばかりでした。今後の生き方にも参考にしていきたいと思っています。有意義な時間をありがとうございました。
6	「トラウマの話を知ったら、自分のトラウマになる。」という話はショッキングでしたが、とても腑に落ちました。セルフケアを忘れずにしていきたいです。アクティビティはとても分かりやすく、今後に活かそうです。参加してよかったです。ありがとうございます。多角的に物事を観ること、勝手に制限しないこと、自由な発想と楽しさを持って、児童・生徒に接していこうと思います。
7	いじめや虐待などを受けると脳の成長が止まることを知りました。社会的なものだけではなく、健康や人生にとって大きな障害となることを科学的に説明していただき、生徒に説明することの一つとすることができました。ありがとうございます。
8	外国語の画面を見て、外国語と通訳の話を同時に聞くのは疲れました。(今回は二回目だから...)集中力持続時間が短くて...。トラウマについては分かりました。コミュニケーションをとるためにゲームをやってみようと思いました。

9	<p>発達理論やトラウマに関するレクチャーはもう少し短くてもいいように思いました。短くまとめられた資料等で補えたら、ワークの体験をもっとじっくりできるかと…。実践して活かしたいと思う人がほとんどのように思うので、初日のようにワークを行ったときの子どもの反応・気にかけるべき点等の具体的な話をもっと聞きたかったです。</p>
10	<p>アクティビティがとても楽しかったです。「あ～、なるほど。」と思うことが多かったです。トラウマと脳の発育・発達の関係も「なるほど」です。視点が変わっていきそうな気がしました。</p>
11	<p>さすがに疲れてきたのと、でも反比例して充実もしてきています。あともう一日、よろしくお願い致します。</p>
12	<p>虐待による脳の成長の違いが興味深かった。また、脳の大きさの違いの写真が衝撃的だった。</p>
13	<p>今まで体験したことのあるワークをいじめのワークにも使っていることを知り、自分の知っているワークを『いじめ』の視点から工夫してみたいと思った。「アクティビティ101」(デイビット著)の訳本をはやく出して下さい！</p>
14	<p>「トラウマ」が暴力を理解する際の重要なキーワードになっていると感じた。また、アクティビティが人と自分の違いを理解したり、脳を活性化するために役立つことを実感することができた。大人でもコミュニケーションをする際に役立つと感じた。ただ、トラウマを扱うには知識が必要なので、深入りすることは難しいと思う。</p>
15	<p>様々なアクティビティを教えていただき、感謝しています。使用場面は限りなく、現在の仕事に活用したいと思います。</p>
16	<p>途中で何度かあったアクティビティがとてもよかったです。学校でやってみたいと思いました。トラウマという事を改めて考えるきっかけになりました。子ども達は日々多くの事に接していて、様々な問題があります。狭い意味のトラウマや広範囲にわたる深いトラウマを抱えている子について違った捉え方ができるようになるのではと思いました。</p>
17	<p>たくさんワークがあり、たくさん学びと気づきがありました。私は直接的に被害者や加害者に関わることはありませんが、予防啓発という事業の中で、自分にできることは何か？を問い続け、精一杯やっていきたいなと思いました。ありがとうございました。</p>
18	<p>数々のアクティビティを行い、脳機能などの説明を聞き、「いじめ」についてとても分かりやすく聞くことができました。アクティビティなどを体験することが子どもたちの考える機会にもつながると思います。まずは、傍観者、ただ見ているだけではなく、間接的にでも「いじめ」について考えることが大切だと思います。本日はありがとうございます。</p>
19	<p>いやあ、集中しました。とても参考になりました。明日も楽しみです。</p>
20	<p>科学的理由がどう行動に影響をするかを理解できた。アクティビティの利用方法、目的を知り、どのように自分の立場でアレンジできるか考える機会を得た。いじめ問題に対応する時、自分のケアが大切と知った。</p>
21	<p>最後のアクティビティが講師の方の後のコメントとなかなか一致せず、残念でした。色々な感情を受け止めることはとても重要だと考えるので。</p>
22	<p>子どもの頃の体験が影響する話を聞いて、自分自身や自分の子どものことを考えた。どう影響しているか具体的には分からないけれど、それはあると思った。日々接する子どもたちの行動・ことばそのものについて、どうするかではなく背景を理解し、そこから解決しなければ意味がないと学んだ。自分自身が接する時に意識していくと共に、指導者の理解を深めてもらえる様伝えていかないと!!と思った。</p>
23	<p>とても濃い内容でした。アクティビティを一部の人がやってるのを観察したり、考えたりするのは良いと思いました。</p>

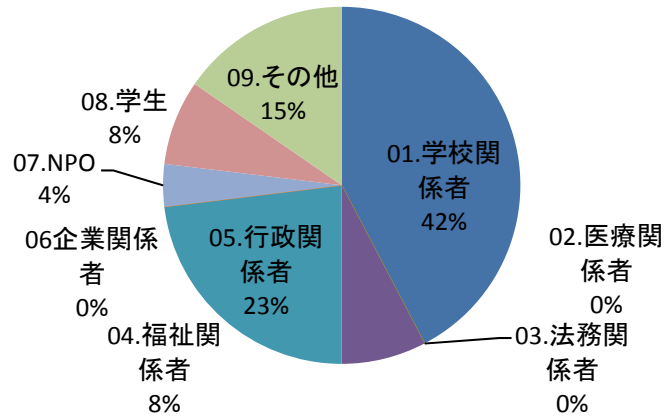
24	<p>いろいろな話を聞けることで参考になります。</p> <p>「いじめ防止プログラム」の具体的なプログラムについても話が聞きたいです。被害者・加害者に対して、どのようなワーク・アクティビティを何分間でやり、どのように展開していくのかなど・・・。</p> <p>この2日間はプログラムの詳細が見えてこないのも、もっと細かく教えていただけたらありがたいです。</p> <p>今日もありがとうございました。</p>
25	<p>アクティビティを通して、人がいかに常識にとらわれていて、そのために不都合な部分が出てくるか実感しました。</p> <p>学校は学びの場であるとともに育ちの場でもあるので、人との関係性を学ぶこのような取り組みも必要だと思いました。</p> <p>難しい話もありましたが、合間にアクティビティが入って良いやり方だと思いました。</p> <p>トラウマを受けた後の対応・対処が知りたいと思いました。</p>
26	<p>今から親になる人たちにぜひ教えてあげたい内容でした。</p> <p>その人の背負っているものの深さを感じました。</p> <p>お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
27	<p>本日の二回目の講習は「脳」のことでしたが、詳しく知ることができ驚きもありました。</p> <p>ワークによる実施も行動により、理解できることを実感しました。</p> <p>加害者のもつトラウマも詳しく分かり納得できました。</p>
28	<p>脳科学の講義はよくわかりました。(小学生の子ども達には古い脳・新しい脳という呼び方で学習していました。)</p> <p>アクティビティは今回のゲーム以前よりクラスの子も達とやってきていました。でも、「いじめ」という観点で行っていなかったのも、私の子どもを見るときの一つの視点としてくわえて生きたいと思えます。</p>
29	<p>とても為になりました。ありがとうございます。</p>
30	<p>幼少期のトラウマが大人になっても影響すると学びました。もっと具体的にどんな不都合(生きづらさ)が仕事上または社会的に表質してくるのが知りたいです。</p> <p>また、トラウマを解放するカウンセリングの方法として傾聴するだけでなく、何か特殊な方法があるのですか？</p>
31	<p>子どもと一緒に受講させていただき感謝です。</p> <p>なぜ、ほめて育てるのがよくて、否定や暴力的なことは効果がないのかが、科学的にわかってすごく納得しました。もっと早く知っておきたかったです。</p>

いじめ防止プログラム指導者養成講座 2013(平成25)年2月11日(3日目)

1. 所属

所属	人数等
01.学校関係者	11
02.医療関係者	0
03.法務関係者	0
04.福祉関係者	2
05.行政関係者	6
06.企業関係者	0
07.NPO	1
08.学生	2
09.その他	4
その他理由	カウンセラー、ガールスカウト、専業主婦(2名)
合計	26

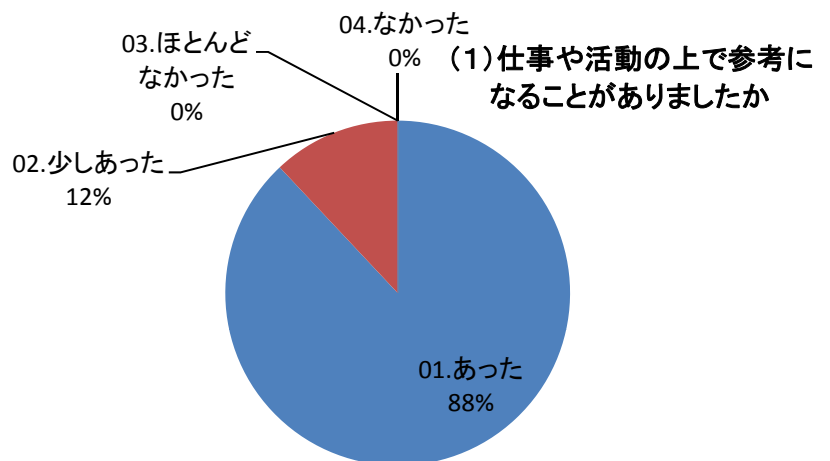
1. 所属



2. 本プログラムを受ける前と受けた後で、どのような変化がありましたか？

(1) 仕事や活動の上で参考になることがありましたか。

	人数
01.あった	22
02.少しあった	3
03.ほとんどなかった	0
04.なかった	0
合計	25

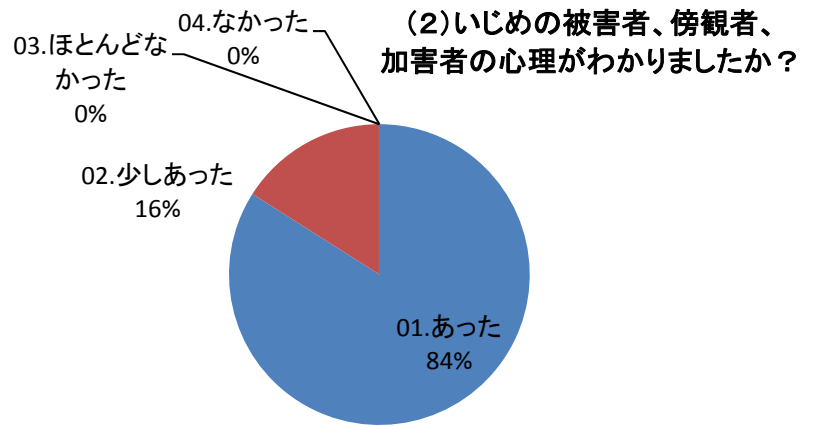


04. その理由をお聞かせください	被害者、加害者、周囲の人に対してどうしたら良いか、ベースの考えがわかりました。
	いじめている子への理解と対応
	小学校の教員なので、毎日子ども達と接する上で「いじめ」「暴力」はいつもとなりあわせになっている。論理的ないじめの背景も学べました。
	普段、瀧田さんにお世話になっており、その中ですでに学ばせていただいていた事柄もあったので。

学校現場で子どもと接した時や、政策を作る際に今日学んだ大切なことを生かしていけると感じたからです。
解決策よりもプロセスが大切
(あったと、少しあったの真ん中に○)加害者にも複雑な心の背景があることを改めて知りました。
当事者とどう向きあうのか、どのような姿勢や思考で向きあうべきなのかわかった。
今まで自分が考えていたこと、感じていたことを強化することができた。自分が強くなったような気がする。
ホットな気持ちになった事とやる気がもらえた。
自分の頭の中で分かっていることと講義とゲームで具体化された。
今まで知っていた以上に深いことを学べた
加害者の指導に視点をあてることが新鮮でした。
学校現場でおきる問題について「なるほどこういうことか～」と納得することがあった。
使えるアクティビティがあった。
理論的に理解できた。
米国の先生方の正邪をわける善悪をわけるところに敬服。
学校に働きかけていきたい。
加害者の立場がよく理解できました。

(2)いじめの被害者、傍観者、加害者の心理がわかりましたか？

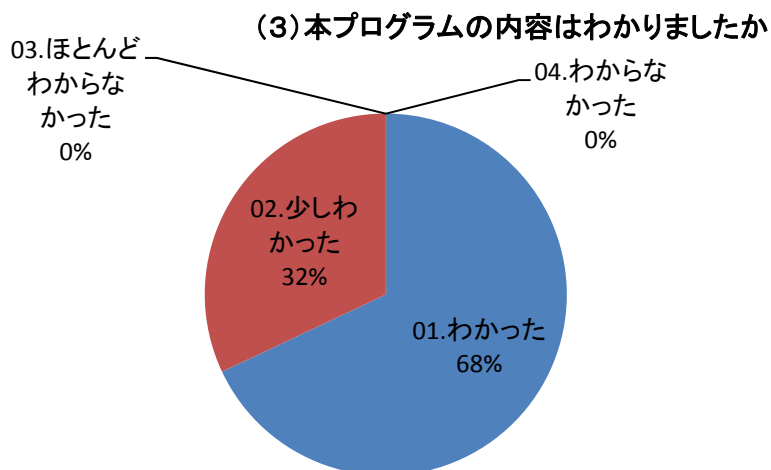
	人数
01.あった	21
02.少しあった	4
03.ほとんどなかった	0
04.なかった	0
合計	25



その理由をお聞かせください	トラウマに起因するという説明が納得できました。
	特に加害者の心理について
	話を聞く中で実際に接してきた子たちの顔が思いうかびました。
	目の前に起こっていることだけでなく、その背景に気を配られる人間でありたいと思いました。
	被害者、傍観者、加害者にかかわらず皆不安で悩みを抱えていることが分かった。
	科学的理由もまじえての講義により納得できた。
	加害者にもイジメ体験をもつ者が多く、家庭内で問題を抱えているのだなあと思いました。
	様々な背景があり、その多様さをも受け止められる自分になりたいです。
	加害者の心理や背景について学んだことはあったけれど、傍観者や被害者の心理や立場を初めて学ぶことができたから。また加害者についてもより深く学ぶことができたから。
	説明がわかりやすく、理解しやすかった。
	トラウマは分るが、まだまだ分かっていないだろう未知の世界がある気がする。
	加害者になってしまう背景。
	生徒指導をしていて、いわゆる「きれいな子」がかつとなったり、短絡的な行動をとる、教師の言うことに聞く耳を持たない態度について理解をすることができました。
	「トラウマ」「加害者はかつて被害者だった」「防衛本能」などを再認識できた。
	「いじめはダメ」という感情論だけではなく脳科学的なことや環境的な問題も理論的に把握し、教えることが大事だと思いました。
	どちらも変わらない。
	ACE studie 他、最近の動向などが助けになりました。
みんなが被害者なのだと改めて思いました。	

(3)本プログラムの内容はわかりましたか

	人数
01.わかった	17
02.少しわかった	8
03.ほとんどわからなかった	0
04.わからなかった	0
合計	25

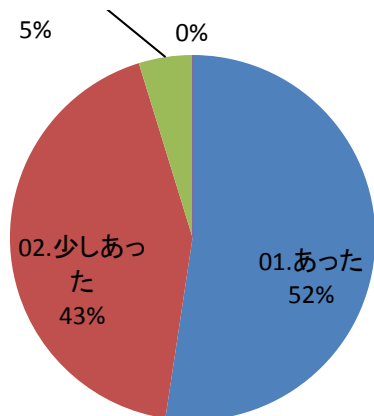


その理由をお聞かせください	英語だった部分が難しかったです。
	瀧田さんの話が充実していたから、とても興味を持ちました。
	英語→日本語訳→理解となったのでわからない部分もあったと思う。
	自分の英語力のなさです。瀧田さんの通訳がありました(本当にありがとうございました&お疲れ様でした)が、やはり両方から音が聞こえてくるのが少し疲れました。(←あくまで自分自身の問題です。プログラムは最高でした☆)
	アクティビティを通じて、人に気持ちを伝えることの難しさやつながることの大切さが分かりました。
	アクティビティにより充実感あり。
	具体的には説明できないが、大枠は理解できたような気がします。
	1と2日目の内容が少しわかりにくかったので、3日間どのようなながれなのか初日に知りたかったです。
	先生のお話は具体的でわかりやすかったから。アクティビティも多彩で、いろいろと考えさせられることがたくさんあったから。
	アクティビティが入り分かりやすい。
	みんなで支えるという考え方に変わった。
	訳がわかりやすかった。
	教員経験から様々な事例を重ねあわせてきたのでよく理解できた。
	具合的にどのような取り組みがよいのか理解できた。
	トラウマ、脳の発達、環境の影響。
	米国と日本のプログラムの関係とか？
訳を介すことによって少し混乱があった点が気になります。	
アクティビティをもちいてわかりやすかった。	
「脳」の講座は少しむずかしかった。	

(4)連携の機会がありましたか

03.ほとんど
なかった、 04.なかった (4)連携の機会がありましたか

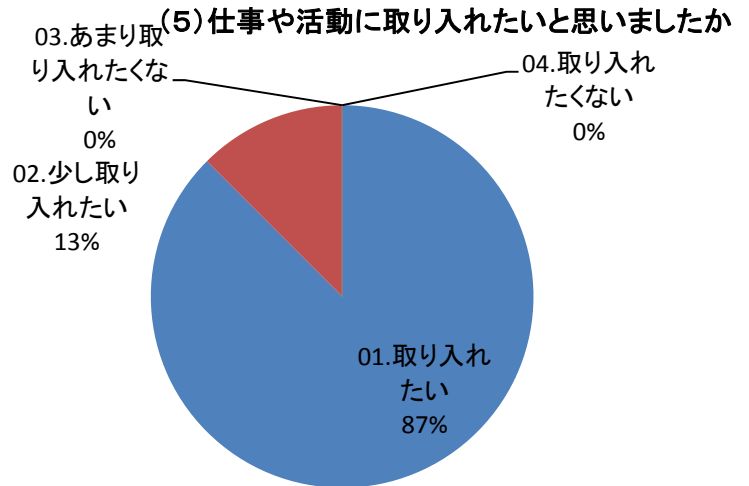
	人数
01.あった	11
02.少しあった	9
03.ほとんどなかつ	1
04.なかった	0
合計	21



その理由をお聞 かせください	議員さんや教育委員会、現場の先生と一緒にだったので。
	いろいろな情報交換ができました。
	グループで相談したり、同じ仕事の人と話ができた。
	様々な立場の方、様々な方の想いに触れることができ、とても力になりました。
	同じグループの方とお話をしたり連絡先、情報の交換ができた。
	もう少し全体を知ることができるActivityを
	関係者ではないので、少しそのあたりで、私自身違和感があった。関東の方々とお話してきたのは楽しかった。
	毛糸
	アクティビティを通じて、あとはランチタイムの雑談
	他の違う職種の方から教えていただくことがあった。
	懇親会
	皆様と色々な話をすることが出来ました。

(5) 仕事や活動に取り入れたいと思いましたが

	人数
01.取り入れたい	21
02.少し取り入れたい	3
03.あまり取り入れたくない	0
04.取り入れたくない	0
合計	24



その理由をお聞かせください	
	いじめの根本にアプローチする方法だと思いました。
	考えさせられるアクティビティが沢山あったため。
	いじめをなくしたいと日頃から思っていたので。
	職場の仲間にも聞かせたいと思いました。いじめ防止プログラムは勤務学校でも呼びたいと思いました。
	自分の立ち位置は意識啓発なので、予防の分野で、目に見えない分、無気力感を感じることも多かったが、このプログラムで改めて大切な分野だと自信が持てたので、これからも頑張ります！！
	学校で子どもに話しかけられたり、相談を持ちかけられた時、今日学んだことを生かして接したいと思いました。
	クライアントと接する上で、心のウラ側を深くみあげることができるかなと思いました。
	いじめ問題は学校や子どもとかかわれる職業だけの問題ではないので、様々な人へ伝えていきたい。大人のいじめ(職場内のいじめもあるので)
	そもそもどんな活動をしたらいいのか。まだ”自分探し”の段階だから。
	視覚にうったえたり、体験的な活動がよかった。
	参考になったため。
	学校現場でいじめで苦しんでいる生徒を少しでも減らすことができるように、また、いじめている生徒の傷がそれ以上深くなり
	積み木のアクティビティが良かったです。
	子どもはもちろん、どう対応したらいいのか分からないリーダーに伝えたい。
	早速、校長先生にパンフレットを持っていきます。

3. 本プログラムのよかった点、学んだことがあったらご記入ください。

心理的、脳科学的な説明がよかった。アクティビティが良いツールになると思った。
グループの方々と交流する機会が多く、多方面のお話が聞けたこと。
いじめる側(加害者)の気持ちを理解できた。
3日間だったことやアクティビティをやったことで参加者のつながりができて学びがより深まりました。
アクティビティが多かった点よかった。人との違いを学びました。
Roleplay,Activity
ヒーリングサークル。いじめの早期発見早期解決が必要だと感じました。
もともとの根っこ、対応、深く学べたと思います。
感情論ではなく、科学的見地や論理的な裏づけがあった点。
"つながる"ことの大切さ
楽しみながらできたため。
第1日目の午前の講義で、このプログラム全体の流れと効果、スキルを教えていただいたので、すべての実践はむずかしいと思いますが要点を取り出して活用していきたいと思いました。
生きづらさを抱えている子供たち(大人もですが)が、新しい扉をひらいていくために私たちができること。
・新しい視点のアクティビティが知っているアクティビティでも違う視点から実施されていた。・脳といじめの関係など理論もしっかりもっていないと。
体験(アクティビティ)を通し学べるプログラム。
生徒全員参加
いろんな方々とお会いでき刺激になりました。
トラウマをかかえたまま大人になった親へのケアと子供へのケアが同時に行われることの重要性を感じました。
脳科学との関係があったこと、ワークがあったので、心にぐっときた。

4. 本プログラムを、どのようなことに活用しようと思いますか

子どもはもちろんのこと地域の大人や保護者への啓発
職場での子どもへの対応
まず学校で報告して一部でも伝達できたらと思います。大きな問題はありませんが、2次予防としていじめ防止プログラムを学校でやってみたいと呼びかけたいです。
もう少し自分の中で今回の内容を消化してから考えます。
職場や地域、家庭でのコミュニケーションに活用したいと思います。
日頃の生活と授業に
イジメを受けたクライアントを見る目が変わればと思います。
職場の研修に取り入れたい。
まだわかりません。
教育活動の中で使っていきたい。
ボランティア活動だけでなく、私のまわりの人達との輪を拡げて行こうと思う。
今後の学業
生徒指導の研修会や学校現場でのいじめ防止に活用したい。
施策に生かします！
学校でのプログラム(いじめ、生き方)に活用。
リーダー養成研修や講習に取り入れたい。保護者向けプログラム、子どもたちとの活動の中で。
これから考えます。
学校に紹介することとおしゃべり会でお母さん達に伝えていきます。
子どもの指導、ママ友に伝えたい。
学校側にスクールバディのプログラムを伝えます。

5. 本プログラムの改善点は、どのようなところですか？

「いじめ防止プログラム」そのものの内容をもう少し聞きたかったです。
3日間このような形で続いたらお互いの自己紹介を兼ねての話し合いの場を最初のうちにもった方がいいと思います。
暴力や暴言をはくなど目に見えるイジメはすぐ気がつくが、目に見えないイジメ(陰湿ないじめ)については、どうなのかと感じました。
初日に全体、参加者同士の顔と名前などがわかる時間があるとよかったです。
今のところ特にはありません。
英語を通訳されるまで分からないのがちょっと疲れたかな？くらい。
室温が高かった。
1泊2日の合宿ではどうですか？
今思い、考えができません。
休憩がもう少しあっても良かったかも？
日本語のパワーポイントがあるといい。

6. ご自由に感想をお書きください。

緩急のついたやり方で集中することができた。英語をもう少し理解したかった。東京でもやって下さい。
はるばる来たかいが本当に大きかったです。学んだことをもう一度振り返り自分のできることを考えていきたいです！ これだけの講演を受講料無料で大丈夫かと心配になりました。お金払っても多くの方が参加すると思います！
明日からの仕事に希望がもてました。
長年、教員生活をしていると経験上「こうした方が良い」とか「こうしてはだめ」ということがわかってくるのですが、理論的に裏付けされたり、こういうことだったのかと発見があったり、今のやり方をこう改善しようと思ったりしました。 たくさん研修会、講演会は行くのですが、今回の研修は大あたり！！でした。ありがとうございました。 講師の皆さんスタッフのみなさんに感謝です。何か研修やイベントのお知らせがあればぜひ知らせてください。P.S前半欠席のはずでしたが全日来れてよかったです。
とても参考になるお話をたくさんかかせていただきました。小学校のプログラムに非常に興味があります。また参加できればうれしいです。ありがとうございました。
様々な方と関わることができ、とても充実した研修でした。子どもへのサポートの仕方を少しでも理解することができました。
ファシリテーター、品川、都内での活動を(情報、募集などありましたら)教えていただきたいです。
有意義な3日間でした。どうもありがとうございました。次回の養成講座の予定はあるのかな・・・。
3日間どうもありがとうございました。さっそく、明日管理職などに伝えていきます。
本郷台まで来てよかったです。何を学んだのか、どうにかせるのか、費用対効果は未知数ですが(もともとfreeですが)きっとどっかで何らかの形でいつか出てくるだろうし、また絶対出してやるという気にもなっています。本当にわからないですが、ありがとうございました。
ありがとうございました。こまかい配慮までしていただいて三日間居心地のよい空間での研修になりました。
自分の中にある考えや感情に改善の考えを与えた講座でもありました・・・。
毛糸のアクティビティーが良かったです。
本プログラムを受ける前は、いじめ被害者の救済や予防の方策ばかり考え、実践してきました。 しかし、いじめ加害者の救済という視点でも対応していかなければならないことを教えていただきました。 またいじめは、被害者の脳の発達にまで影響し、精神的影響のみでなく、一生涯に与える影響の大きさにおどろかされました。 このようなプログラムに参加することができ、これからの仕事への認識もさらに深めることができました。ありがとうございました。
ありがとうございました。
3日間ありがとうございました。
また、次回の機会も参加したいので、今回の参加者にご案内下さい。
全体のプログラムの位置づけ。内容(詳細)が進行に合わせてわかるとよい。全体的に内容の詰まったよいプログラムでした。ありがとうございました。
皆様とつながりがもてて、勇気づけられました。家庭を振り返ると辛いところもありますが・・・前進していきます。ありがとうございました。
参加者のみなさんがすごいので、もっともっとお話したかったです。